
一 般 質 問 通 告 書

第 1 8 4 回浦添市議会定例会
(平成 3 0 年 3 月)

1.	濱 崎 早 人	・ ・ ・ ・ ・	1	ベー	3 月 1 日
2.	上江洲 徹 也	・ ・ ・ ・ ・	1		↓
3.	比 嘉 克 政	・ ・ ・ ・ ・	1		
4.	金 城 大 輔	・ ・ ・ ・ ・	1		
5.	伊 礼 研 一	・ ・ ・ ・ ・	2		
6.	松 下 美智子	・ ・ ・ ・ ・	3	3 月 2 日	
7.	當 間 清 春	・ ・ ・ ・ ・	3		↓
8.	又 吉 正 信	・ ・ ・ ・ ・	4		
9.	仲 里 邦 彦	・ ・ ・ ・ ・	4		
10.	比 嘉 武 宏	・ ・ ・ ・ ・	4		
11.	亀 川 雅 裕	・ ・ ・ ・ ・	4	3 月 5 日	
12.	稲 嶺 伸 作	・ ・ ・ ・ ・	5		↓
13.	仲 間 烈	・ ・ ・ ・ ・	5		
14.	下 地 秀 男	・ ・ ・ ・ ・	6		
15.	田 畑 翔 吾	・ ・ ・ ・ ・	7		
16.	大 城 翼	・ ・ ・ ・ ・	10	3 月 6 日	
17.	西 銘 健	・ ・ ・ ・ ・	11		↓
18.	伊 礼 悠 記	・ ・ ・ ・ ・	13		
19.	當 間 左知子	・ ・ ・ ・ ・	15		
20.	銘 苅 良 二	・ ・ ・ ・ ・	16		
21.	古波蔵 保 尚	・ ・ ・ ・ ・	16	3 月 7 日	
22.	真栄城 玄 誠	・ ・ ・ ・ ・	17		↓
23.	護得久 朝 文	・ ・ ・ ・ ・	18		
24.	下 地 惠 典	・ ・ ・ ・ ・	18		
25.	又 吉 謙 一	・ ・ ・ ・ ・	18		

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
1 濱 崎 早 人	1 本市の防災危機管理の現状と今後の取り組みについて 2 子どもの貧困対策事業の現状及び課題について 3 放課後児童健全育成事業について 4 牧港漁港及び港内施設の整備について 5 スケートボード場の建設について
2 上江洲 徹 也	1 平成30年度子育て支援の取り組みについて (1) 待機児童解消（認可保育園、学童クラブ）の取り組みについて (2) 公立幼稚園の給食費助成の取り組みについて 2 聴覚障がい者支援及び聴覚障がい者対象の講演会開催について 3 子どもの貧困対策事業の取り組みについて 4 グローカル人材育成事業の取り組みについて 5 浦添グスクを中心とした観光振興の取り組みについて 6 産業振興、観光振興の観点から稼げるまちづくりの取り組みについて 7 職員の意識改革の取り組みについて
3 比 嘉 克 政	1 牧港補給基地（キャンプ・キンザー）返還に伴う跡地利用まちづくり計画について伺います。 (1) 返還は予定どおり2025年に実現するのか。 (2) 返還に伴うまちづくり計画は進んでいるのか。 2 本市に拠点を置くプロハンドボールチーム、琉球コラソンに対して浦添市ではどのような支援、応援をしているのか伺います。 3 深夜の子連れ飲食の制限について伺います。
4 金 城 大 輔	1 第五次総合計画の策定の際に、2015年9月の国連サミットで採択されたSDGs（持続的な開発目標）の推進と達成という観点も取り入れることについて 2 里浜条例制定後の市の具体的な取り組みについて (1) 市民を中心にワークショップが開かれているが、状況を把握しているか。 (2) 里浜保全活用推進協議会を設置し、具体的な協議を進めていくスケジュールについて 3 港川ステイツサイドタウンについて (1) 土地の管理の状況 (2) 管理会社との話し合いの状況 (3) 地域の要望を聞くアンケートの実施状況

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	(4) 今後の市としての取り組み、課題の認識と対策 4 地域におけるマンション建設時の課題について (1) マンション建設の際に市とディベロッパーや管理会社との話し合いはあるのか。 (2) 駐車場やコミュニティーづくりなどの課題について 5 市道牧港港川線について (1) 県道浦添西原線の取り付けによる影響と対策 (2) 停止線や横断歩道が消えていたり、路面が傷んでいる状況を市として把握しているか、対策はとらないのか。 (3) 今後の整備のスケジュールはどうなっているか。 6 市道港川伊祖線について (1) 電柱の移設の状況 (2) 港川中学校裏門から市道に出る付近でのミラーの設置について 7 城間4丁目のパナソニック近くの点滅信号の改善について 8 港川小学校の通学路となっている裏門の通りの安全対策について 9 地域と学校の協働の活動を実施していくコミュニティースクールの市の取り組みについて 10 こども未来部の業務範囲と内容、他部署との連携について 11 来年度のてだこ未来応援事業について 12 過去に浦添市が導入したシンクライアントの成果と現状、自治体クラウドの対応について
5 伊 礼 研 一	1 こどもを取り巻く環境について (1) 保育所（小規模保育園等含む）の申し込み、入所基準及び選定について (2) 保育士採用と処遇改善について (3) こども医療費助成制度の窓口無料化について (4) 学童保育の受け入れの課題と対策について 2 浦添市で働く非正規職員の産休、育休を充実させることについて 3 城間から仲西までの国道58号拡幅事業について 4 ごみ袋に民間広告を載せ、その財源で取っ手つきの袋を提供する件について、12月議会後の進捗状況を伺う。 5 公共施設の命名権（ネーミングライツ）について 6 内間児童センター、内間公民館付近の横断歩道の白線が消えかけている。歩行者の安全確保について 7 グリーンハイツ内の調理場跡、解体と運用について 8 浦添市が締結した合法民泊推進3者協定と市内の違法民泊の実態について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
6 松 下 美智子	1 平成30年度施政方針についてお伺いします。 (1) 福祉行政について ①平成30年うらそえ福祉のまち元年「沖縄一優しい福祉のまち」の取り組みについて ②（仮称）発達障がい児関連複合施設の整備について (2) 保育行政について ①4月より実施される「保育士OK INAWAステイ計画」について、保育士確保の状況と具体的な取り組みについて ②幼稚園における「特別支援学級」の拡充について (3) 文化芸術振興事業について ①数多くの大切な事業がありますが、文化芸術振興のために新しい体制で、どのように取り組まれるかお伺いします。 2 男女平等及び多様性を尊重する社会を推進することについて (1) 小、中学校における男女混合名簿の活用・定着についてお伺いします。 3 てんかんの拠点病院の指定の取り組みについてお伺いします。 4 「ゾーン30」について (1) 通学路等に区域（ゾーン）を定めて時速30キロメートルの速度規制を実施した取り組みと効果について
7 當 間 清 春	1 教育行政 (1) 特別支援教育ヘルパーの勤務時間について (2) 公立幼稚園の給食の実施状況について (3) 学校における働き方改革について (4) 沢岬小学校から出された施設修繕要望の進捗について 2 学童保育 (1) 放課後学童クラブの今後の取り組みについて (2) 待機児童解消について (3) 沢岬げんき学童クラブの施設確保について 3 浦添市事務連絡等委託について 4 道路行政 (1) 神森中学校グラウンド側の神森線の見通しの悪い箇所の交通安全対策について (2) 市道の路面標示について ①内間経塚線 ②経塚ゆいまーるセンター近くのコインランドリー前

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
8 又 吉 正 信	1 施政方針の中の「働き方改革」の実現について (1) 「働き方改革」の実現に向けたこれまでの取り組みについて (2) 平成30年度の取り組みについて 2 公共下水道整備の状況について (1) 市内における整備率及び普及率等の進捗状況について (2) 字港川地域における今後の整備計画について 3 平成30年度以降の国民健康保険改革について
9 仲 里 邦 彦	1 消防力の強化と消防庁舎の統廃合について (1) 消防力の強化 (2) 牧港出張所と内間出張所の統合 (3) 屋富祖付近の国道58号沿いへの本部機能の移転統合 2 ネーミングライツについて (1) どのような施設が対象になるのか。 (2) ネーミングの条件について (3) 収益性とネーミング効果 3 民泊の現状と課題について 4 中国泉州市への職員人事交流について 5 浦添市施設型共同墓について (1) 事業概要について (2) 施設設置の背景と目的・効果について 6 浦添城跡の復元整備について (1) 浦添グスクの整備計画について (2) 発掘作業の前倒しについて (3) 航空写真からの城郭の復元について
10 比 嘉 武 宏	1 北方領土返還運動全国強調月間の取り組みについて 2 市民課窓口で外国語対応をすることについて 3 国際化の進展に伴う本市の対応及び人材育成について 4 本市の生活保護受給状況について (1) 受給世帯の大学、短期大学、専門学校の進学率を伺う。 5 県道浦添西原線港川道路の整備進捗状況について (1) ゲート近くにある城間拝所はどのようなになっているか。
11 亀 川 雅 裕	1 今後の旺盛なる行政需要に対する財源確保について 2 当山小学校分離新設校について 3 産業まつりにについて

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
12 稲 嶺 伸 作	1 民間活力を市政運営に生かすP P Pについて (1) 市役所を初め既存の公共施設や将来建設する複合施設にコンビニエンスストアを誘致し、テナント料を歳入に充てることが検討できないか。 2 モノレール浦添前田駅の周辺開発について (1) 市東部地区のランドマーク的な存在となる観光拠点施設の建設場所、完成時期、建物の仕様、無料W i - F i 導入等について (2) 観光拠点施設の内容について ①浦添の歴史文化を紹介する常設展示スペースの設置、三大王統まつりで使用する衣装等の展示 (3) 南エントランス館の機能を観光拠点施設に移設し、当該施設を平和学習と平和発信の拠点にできないか。 ①沖縄戦当時における市内各地の状況説明コーナー、戦跡の紹介による巡回コース、当時の住民の体験映像視聴ブースの設置について (4) コンビニエンスストアの誘致について 3 浦添市の物産と地域資源の育成支援について (1) てだこウォークと併催した物産展の実施結果と過去の実績との比較検証 (2) 市の数少ない一次産品である桑、カキ等育成支援の状況 ①浦添市が連携している沖縄工業高等専門学校との取り組みの進捗状況と今後の計画について ②沖縄スーパーフードなど付加価値の高い商品開発の行政支援について 4 T N R の取り組みについて (1) 次年度のT N R の計画について 5 道路整備について (1) 市道西原23号線、市道西原北線の道路整備の進捗について
13 仲 間 烈	1 浦添南第一地区土地区画整理事業について (1) 整備状況について (2) 前田公園・経塚公園の整備計画について (3) 国際センター線への歩行者用信号機の設置について 2 子供たちの登下校の安心・安全対策について 3 学童クラブへの支援について 4 待機児童対策について (1) 保育士確保に向けての市の対策について

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	5 手話言語等コミュニケーション手段の利用促進に関する条例に係る取り組みについて 6 認定こども園について (1) 応募状況について (2) 職員の確保について (3) 保護者の反応について 7 資源ごみ（紙類）の回収状況について
14 下 地 秀 男	1 「誰一人取り残さない」、SDGs（エスディージーズ・持続可能な開発目標）の理念への取り組みについて伺います。 (1) グローバルな視点とあわせ、ローカル（地域）の視点についても伺います。 (2) 市の職員を現職参加制度を利用し、市に籍を置いたまま青年海外協力隊に派遣できないか伺います。 (3) 生きづらさを抱える若者への支援について伺います。 2 ごみ行政について伺います。 (1) 結びやすい、運びやすい、利便性があるということで、宜野湾市、本部町・今帰仁村等が導入している、U字袋を本市も導入してはどうか伺います。 (2) クリーンセンターの耐用年数と建てかえの時期と広域での取り組みについて伺います。 (3) 浦添市空き缶・吸い殻等のポイ捨て防止による環境美化促進条例（平成15年）が、生かされているか伺います。 3 待機児童の状況について伺います。 (1) 現状と課題がどのようなになっているか伺います。 (2) 隣接する那覇市、宜野湾市、西原町との連携した保育行政ができないか伺います。 (3) 保育士確保のために浦添市としてどのような支援ができるか伺います。 4 グリーンハイツ内の経塚共同調理場跡について伺います。 (1) 保育園や児童センターなど子育て支援のための施設や高齢者の皆さんが憩えるような複合施設が設置できないか伺います。 5 学童クラブについて伺います。 (1) 浦添市学童保育連絡協議会から待機児童発生を防ぐため、家賃満額補助及び移転関連費用補助の要望があります。取り組みについて伺います。 (2) 神森小学校プールと併設の学童クラブ建設予定について伺います。

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	6 建設行政について伺います。 (1) 神森中学線の大平地域は歩道がなく、交通量が激しく、電柱が多いため歩行者に優しい道路にできないか伺います。 (2) 神森中学線の交通量が激しいのは、沢岬方面から国道58号に入るためや、大平方面から国道330号へ入るためなど、神森線の延長の国道330号をまたぐ高架橋の建設が急がれます。取り組みについて伺います。 (3) 浦添南第二地区土地区画整理事業を急ぐべきです。予算の確保について伺います。 (4) グリーンハイツ線の進捗状況について伺います。 (5) 沢岬小学校グラウンド東側の通学路の整備について伺います。 7 空き家・空き地対策について伺います。 8 キャンプ・キンザー跡地に「ラボ・シティ 世界中から最先端技術の実証実験を浦添で！」との提言を松本市長は、なされました。キャンプ・キンザー返還までの時間的課題とラボ・シティ実現までの取り組みについて伺います。
15 田 畑 翔 吾	1 県内の市町村で初めて、北谷町が返済不要の給付型奨学金制度の導入に踏み切りました。また、那覇市でも2019年に入学する沖縄県内の大学への進学希望者を対象とした、入学金と授業料の全額を支給する給付型奨学金の導入を予定しています。また、国の奨学金が返せず自己破産するケースが、借りた本人だけでなく親族にまで広がっており、過去5年間の自己破産は延べ1万5千人で、半分近くが親や親戚らが保証人だったことを、奨学金制度を担う日本学生支援機構が明らかにしたとの新聞報道がありました。これ以上、子どもの貧困を親の責任だけで済ませてはなりません。本市においても、行政として子どもたちを支援していくことが強く求められています。返済のいらない給付型奨学金を早期に実現することについて 2 南風原町は、就学援助事業において入学前支給で保護者の経済的負担を減らすことを理由に今年4月から入学準備金の前倒し支給を決めました。貧困の世代間連鎖を断ち切り、未来を担う子どもたちの最善の利益を保障するため、子どもの貧困を抜本的に解決する取り組みについて (1) 就学援助の全員申請の実施で、援助が必要な全ての子どもたちが支援を受けられるようにすることについて (2) 9月議会において、就学援助の入学準備金について部長は、「平成31年度入学予定者への前倒し実施に向けて取り組んでまいりたい」との答弁がありました。進捗を伺う。

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	(3) 那覇市や名護市、読谷村や南風原町など他市町村が行っている生徒会費、PTA会費、クラブ活動費、体育実技用具費、通学費など就学援助のメニュー拡充を行うことについて (4) 就学援助の対象者を生活保護基準の1.5まで広げ、対象者をふやすことについて 3 学校給食の無料化を実施することについて 4 2016年度に病気休職した県内の公立学校の教員は413人で、在職者全体に占める割合（病休発生率）は2.8%となり、少なくとも2007年度から10年連続で全国ワーストとなっているとの新聞報道がありました。また、うつ病などの精神疾患による病休発生率も全国ワーストが続いており、全国平均の3倍も高い深刻な状況が続いています。本市も例外ではなく、公立小中学校教職員の一定数が過労死ラインである月80時間を超える残業を余儀なくされていること。さらには、約半数以上が健康障害のリスクを伴う月45時間を超える残業を行い、病気休職者予備軍が多数存在していることも分かりました。先生方は既に限界を超えており、行政としてこれ以上の負担を放置し続けることは決して許されません。本市における教職員の多忙化を解消することについて (1) 直近3カ月間における、過労死ライン月80時間を超える残業を行っている教職員の割合について (2) 直近3カ月間における、厚生労働省大臣告示、健康障害リスク月45時間を超える残業を行っている教職員の割合について (3) 本市、公立小中学校教職員の1日の勤務時間内において、労働基準法上で定められている休憩時間の取得の徹底がなされているかについて (4) 12月議会において、教職員の労務管理方法について「ＩＣカードによる勤怠管理の年度内導入、4月本格稼働に向けて手続を行っている」との答弁がありました。進捗を伺う。 (5) 12月議会において、教職員の長時間労働・働き方を抜本的に解決する方法について質問した際、部長は「業務の効率化・部活動・教師の指導力の3つの視点で取り組みを進めている」と答弁しました。この3つの視点でどれだけ勤務時間の短縮につながったのか。成果を伺う。 5 米軍牧港補給地区（キャンプ・キンザー）周辺4地点で、昨年捕獲したハブから自然界に存在しない有害物質のポリ塩化ビフェニル（PCB）と、使用が禁止されている農薬として毒性が強いDDT類が検出されたとの新聞報道がありました。2015年、16年の調査でも捕獲した全てのハブからPCBが検出されています。調査結果に

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	ついて専門家は「市街地に一般的に見られる汚染だけではなく、米軍基地など固有の発生源に起因する汚染が含まれていることが示唆された」と指摘しています。キャンプ・キンザー周辺では、当然ながら市民が日常生活を営んでおり、健康被害や不安をなくすためにも、一刻も早い発生源の特定が行政には強く求められています。 (1) P C B及びD D Tが人体に与える影響について伺う。 (2) 本市におけるP C B等調査を行う費用はいくらか伺う。 (3) 在日米軍基地内の調査に関する「環境補足協定」が日米間で結ばれたことから、基地返還の約7カ月前でなければ日本側の立ち入り調査が認められない状況が発生しています。本市として、市民の生命・安全及び生活環境を守る立場からどのように対応するのか伺う。 (4) キャンプ・キンザー内に枯葉剤による汚染はあるか伺う。 6 公営住宅の家賃滞納が21万世帯、504億円に上るとの総務省発表が新聞報道により明らかとなりました。滞納の背景には、行政による生活状況の把握や福祉的支援が不十分な面があるとして総務省は国土交通省、厚生労働省の両省に改善勧告を出しています。公営住宅の利用者は高齢者や障がい者、ひとり親、生活保護世帯など生活に困窮している方々です。本市として、生活状況の把握を通して市民が安心できる暮らしを守ることについて (1) 現時点で把握している家賃滞納件数の過去3年間の推移 (2) 本市における、滞納者の生活状況の把握はどのようにして行われているか伺う。 (3) 家賃の減免制度に該当する入居者を全て把握し、同制度の利用の徹底がなされているか伺う。 (4) 滞納世帯に対してどのような支援を行っているか伺う。 (5) 連帯保証人を確保できなかったことを理由に入居できなかった事例があるか伺う。 7 昨年12月12日に公表された厚生労働省告示「社会福祉法に基づく市町村における包括的な支援体制の整備に関する指針」において、「ソーシャルワーカー（以下ワーカー）による支援が受けられる体制を整備する必要がある」と明記されています。地域における生活や福祉問題等はますます多様化し複雑化している中において、特に制度の狭間にある福祉課題や生活課題を抱えている方に対し、「身近な存在」として寄り添い、関係機関や制度へと適切に「つなぐ」ことを使命とし、表からは見えづらい生活困窮者の方々に光を当てる極めて重要な役割を担っているのがワーカーの職員です。しかし、これら重要な事業の「要」であるはずのワーカー10人の内8人

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	がいまだ嘱託職員であり、本市としても安心して持続的に業務に当たれる身分保障や職員配置を可能にする必要があります。 (1) ワーカーの活動領域は多岐に渡ります。主に行っている具体的な業務内容を伺う。 (2) ワーカーによる過去３年間の相談・訪問件数の推移 (3) コミュニティソーシャルワーカーの身分保障として、正規化に取り組めるよう人件費補助を行うことについて 8 (仮称) 発達障がい児関連複合施設の整備の進捗状況について 9 地方公務員の給与は、地方公務員法を根本基準として各地方公共団体の条例に基づいて定められており、職務の複雑、困難及び責任の度合いに基づいて決められる月例給と、これを補完する諸手当から構成されています。一般職の地方公務員は労働基本権（団結権・団体交渉権・団体行動権）が一部制約されているため、人事院の給与勧告はその代償措置として職員に対し、社会一般の情勢に適応した適正な給与を確保する機能を有するものであり、国家公務員の給与水準を民間企業従業員の給与水準と均衡させることを基本に人事院勧告を行っています。しかし、2018年１月17日、突然給与の改定が見送られることが職員に対し周知され、その後、団体交渉へと発展し、一時はストライキまで行われかねない事態となりました。職員の労働の権利を守るうえで当然の行動です。結果として、３月議会に給与改定に関する条例案の提出がなされましたが、本市における市民サービス並びに市長公約を支える上においても、職員の皆さんがいてこそその行政サービスです。当初、事前の協議もなく、一方的に給与改定を見送る決定がなされたことは本市職員の働く権利、身分保障において決して看過できるものではありません。 (1) 給与等の改定見送りから、最終的に本改定に関する条例案の提出がなされた経緯を伺う。 (2) 当初、本改定を見送ることを決めた理由は何か伺う。 (3) 市長にとって「職員」とはどのような存在であると考えているのか伺う。
16 大 城 翼	1 市長公約について (1) 公約の進捗状況とその実施について (2) まちづくりの支援事業の進捗状況について (3) 市長公用車導入について 2 伊奈武瀬球場の代替地について (1) 社会体育施設としての代替地についての基本的考え方について (2) キャンプ・キンザー内の球場を共同使用することについて

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	3 中学生の制服等のリサイクルについて (1) 現在の実施状況について (2) 教育委員会が主体的に取り組むことの是非について 4 ヘルプマーク導入について (1) ヘルプマークに対する本市の基本的な考え方と導入する場合の課題について 5 歩行者安全対策としてのハンプ設置について (1) 現在導入している校区の評価について (2) 今後導入していく場合の基本的な考え方について 6 港川小学校前信号（学園通り線）の停止線の位置改善について
17 西 銘 健	1 「4月入所を申し込んだが、保育園に落ちた。何とかしてほしい」「職場復帰の日があるのに、大変困る」「認可外保育園も入れない」と市民から悲痛な声が上がっています。早急に保育園を増設し、保育士の賃金引き上げなどで希望するどの子も保育園に入ることができるようにすることについて (1) 過去4年間の4月入所総人数の推移と平成30年4月の見込み (2) 保留（不承諾）通知数と入所承諾通知数の過去5年間の推移 (3) 待機児童の解消計画について (4) 公立保育所の保育士の賃金を引き上げるなど処遇を改善すること (5) 法人、認可外保育園の保育士の賃金引き上げなど処遇改善のための支援を拡充すること (6) 認可外保育園の給食費や保育料などへの支援を拡充すること 2 各学童クラブにおいて、待機児童を出さない努力が続けられている中、大規模化が大きな問題となっています。待機児童を出さずに各学童クラブの適正規模を実現するためには、学童クラブの公設と分離・新設への支援拡充を急ぐことが強く求められています。 (1) 入居、移転費用を補助することについて、いくら財源が必要か。 (2) 民間入居学童クラブの家賃を全額補助することについて、いくら財源が必要か。 (3) 支援員の処遇改善を図ること (4) 低所得世帯の保育料を補助すること 3 10月から、沖縄県が未就学児ゼロ歳から6歳までの病院窓口での支払いをなくし、3歳から6歳の一部負担金も廃止する予定です。浦添市においても実施し、通院費を中学卒業まで無料にすることについて

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	4 無料低額診療事業における浦添市独自の調剤処方費補助制度を創設することについて、去る12月議会で、部長は「投薬も含め一体的に治療を受けることが症状を悪化させず、生活困窮者が安心して生活できるものと考えられるので、県内外の自治体を参考にしながら検討する」と答弁しています。 (1) 他自治体でいくらの予算で実施しているか。 (2) 無料低額診療事業における調剤処方費補助制度を創設することについて 5 安倍政権は、憲法第25条に明記された生存権を保障する生活保護の削減を強行しようとしています。食費や光熱費など日常生活費に充てる「生活扶助」を最大5%、ひとり親世帯への「母子加算」は平均で20%の削減を盛り込んでおり、利用世帯の67%が影響を受けます。生活保護の引き下げは保護利用者の暮らしを一層深刻にし、国民生活全体の引き下げにつながります。貧困の拡大を防ぐためにも、浦添市として生活保護基準の引き下げを行わないよう国に求めるべきです。見解を伺う。 6 高すぎて払いたくても払えない国民健康保険税を引き下げて、誰もが安心して病院に行くことができるようにすることについて (1) 差し押さえ件数の過去3年間の推移が平成26年度243件、平成27年度324件、平成28年度367件とふえている理由を伺う。 (2) 短期被保険者証の交付世帯の過去3年間の推移が平成26年度618世帯、平成27年度689世帯、平成28年度1,008世帯とふえている理由を伺う。 (3) 従来通りの政策的繰り入れを行った場合、一世帯あたりいくらの引き下げが見込めるか。引き下げることについて (4) 子どもの均等割を減額、免除すること 7 介護保険料の負担は低所得のお年寄りの負担能力を大きく超えています。年金は上がらないのに、保険料は引き上げられ、介護の利用メニューは減らされていく。これでは暮らしは苦しくなり、必要な介護を利用することができなくなります。国において介護保険制度の抜本的な改善が求められますが、本市においても介護保険料と利用料の引き下げを行うことが必要です。 (1) 第1期と第7期の事業計画の基準保険料を伺う。 (2) 滞納件数の過去3年間の推移 (3) 第7期の事業計画において、政策的繰り入れをいくら行った場合に基準保険料を据え置くことができるか。 8 少人数学級は、子どもの悩みやトラブルに対応する上でも、学習を豊かにする上でも、重要な教育条件です。欧米でも20人から30人

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	学級が当たり前です。浦添市において少人数学級を推進することについて (1) 沖縄県教育庁が、次年度から小学校6年生で35人学級を導入するとの報道があります。次年度から全ての学校で少人数学級を実施できるようにすべきだが、実施することができるか。 (2) 少人数学級を実施するために教室を整備することについて (3) 教員の多忙化を改善し、少人数学級を推進するために浦添市が教員を採用することについて ①他市区町村で、教員を採用しているところがあるか。 ②浦添市教育委員会の職員数は10年前と比べてどうなっているか。 9 神森小学校のプールの早期建てかえと、学童クラブの併設について 10 子どもたちの遊ぶ公園の砂場に猫の糞尿があり、不衛生で感染症も心配なので対策をしてほしいとの市民の声があります。対策について 11 市内の道路の至るところで横断歩道の白線などが消えていて市民から道路を横断するのに危険だという声が寄せられています。早急に対応することについて 12 浦添の豊かな自然の残る西海岸を埋め立てないでほしい。海兵隊が来る軍港をつくらないでほしい。これが市民の願いです。自然破壊で税金の無駄使いの西海岸の埋め立てと軍港建設をやめることについて (1) 市長が、知事や那覇市長と話し合った結果を伺う。 (2) 市長が、浦添新軍港に賛成する理由は何か。 (3) 軍港をつくると米軍機や米軍艦による事故や海兵隊による事件に市民生活が脅かされます。市長は市民の人権、生命、財産を守ることができるのか伺う。 (4) 軍港をつくって経済や観光が振興、発展できるか伺う。 (5) 市長が那覇軍港の移設条件なしの返還を求めることについて
18 伊 礼 悠 記	1 「入学のための必要なお金を準備することができない」と保護者から切実な相談を受けました。入学を控える親御さんが不安なく新入学を迎えられるよう、援助を必要としている時期に必要な額を速やかに支給する必要があります。子どもの貧困対策の一環として緊急の課題である就学援助制度の改善と拡充を行うことについて (1) 小中学生ともに入学準備金の前倒し支給や増額を行うこと

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	(2) クラブ活動費、P T A会費、生徒会費、通学費など支給項目を拡大すること (3) 年度途中の認定の場合、就学援助費をさかのぼって支給すること 2 幼児教育を拡充することについて (1) 年中、年少にも特別支援学級を設置し、どの子も等しく幼児教育を受ける権利を保障すること (2) 特別支援教育ヘルパーを配置すること (3) 臨床心理士などの専門職を正規で採用し、また増員するなどで特別支援教育の充実を図ること (4) 特別支援学級を含めた学級担任全てを本務採用すること (5) 臨時職員の賃金を引き上げるなど処遇を改善すること (6) 幼稚園給食、3年保育を拡充すること 3 当山小学校の分離新設を早期に実現することについて (1) 候補地の地権者に対する意向調査について (2) 児童推計や各候補地の通学区域の検討について (3) 事業費や開校までの期間について (4) 今後の作業スケジュールについて 4 生活保護世帯に対する出産扶助の支給漏れについて、少なくとも過去5年間で20件、約21万円を自己負担させた問題で、12月議会で部長は「他市町村の事例等も調査しながら、どういった対応をするかについては改めて検討していきたい」と答弁しています。市民の立場に立ち、さかのぼって支給するべきです。浦添市の判断について伺います。 5 ひとり親世帯の支援を拡充することについて (1) 児童扶養手当の毎月支給を実現すること (2) 母子父子寡婦福祉資金の貸付要件の緩和や、申請から貸付までの期間を短縮するなど利用しやすいよう改善することについて (3) 就労支援や生活支援事業などの拡充について 6 浦添市の非正規職員の割合は4割にのぼり、臨時・非常勤職員は正規職員と同様市民サービスの提供を担う重要な存在です。浦添市が「同一労働・同一賃金」に向け、安心して働ける賃金や労働条件を実現することで非正規職員の身分を保障することについて (1) 正規職員と臨時・非常勤職員の職務内容や賃金などの処遇格差について (2) 雇用年数に応じた経験加算の実施や育児・介護休業などの適用で、非正規職員の処遇を改善することについて

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	(3) 正規職員と同じように専門性や資格が問われ、基幹的、恒常的に働く非正規職員を正規化し、正規職員を拡大することについて 7 コミュニティバスなどの支線公共交通の導入について進捗を伺います。 8 バス停に屋根やベンチを設置してほしいという声が寄せられています。特に高齢者や障がいのある方については、バスを利用するにあたり必要となっていますが、設置を実現することについて 9 パートナシップ制度の創設を実現することについて 10 MV22オスプレイが沖縄に配備されてから5年余の間、墜落事故、部品落下事故、住宅周辺上空でのつり下げ訓練の常態化に加え緊急着陸が相次ぎ、事故率も倍増する事態となり、危険な欠陥機オスプレイが日々県民の命を脅かしているのは明らかです。5年以上が経過した今もなお世論調査では配備撤回を求める声が約7割となり、オスプレイのこれ以上の飛行を許すわけにはいきません。市長は1月の首長アンケートで、オスプレイ配備についての問いに無回答とした理由は何か。配備撤回を明言できないのはなぜか。市民の命や暮らしを守る立場でオスプレイの配備撤回と声を上げるべきだが市長の見解を伺う。
19 當 間 左知子	1 保育行政についてお伺いします。 (1) 平成30年度保育所入所手続の進捗状況について ①きょうだい児について ②小規模保育所からの3歳児について (2) 公立保育所の4月1日の受け入れ状況について (3) 認定こども園の4月1日の受け入れ状況について ①1号認定の割合について (4) 企業主導型保育所について ①設置数と定員について (5) 保育士確保策について (6) 認可保育所主食費補助金について 2 浦添市のものづくりについて、お伺いします。 (1) 養蚕絹織物事業について (2) 桑事業について 3 民泊新法についてお伺いします。 (1) 住宅の空き部屋やマンションの一室を利用して、観光客・旅行者などに宿泊させる「民泊」のルールを定めた「住宅宿泊事業

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	法」通称「民泊新法」が2017年6月に国会を通過して成立しました。施行は6月15日になると言われています。浦添市の考え及び取り組みについて伺います。 4 浦添西海岸関連道路（沖縄西海岸道路浦添北道路及び臨港道路浦添線）が、来る3月18日に開通する予定とされています。浦添北道路の最終的な全線開通はいつになるのか、伺います。 5 浦添ニュータウン線の通行車両速度抑制の対策について伺います。
20 銘 莉 良 二	1 施政方針から (1) 「沖縄1優しい福祉のまち」とは 2 市長の政治姿勢について (1) 振興策の考え方について 3 福祉行政について (1) 子どもの貧困対策事業の現状 (2) 今後の展開について 4 文化行政について (1) 世界遺産追加登録について (2) グスク周辺の景観と建築物について 5 働き方改革について (1) 本市の考え方と今後の取り組みについて (2) 学校における働き方改革について
21 古波蔵 保 尚	1 市長の政治姿勢について (1) 相次ぐ米軍機の事故についての見解を伺う。 (2) オスプレイは安全かを伺う。 (3) オスプレイの県内配備に賛成か反対かを伺う。 (4) 米軍普天間飛行場の辺野古移設に賛成か反対かを伺う。 (5) 米軍普天間飛行場の辺野古移設の賛否を問う県民投票を実施した場合、市長は協力するかを伺う。 (6) 人事院勧告の給与改定について伺う。 (7) 市長は副市長、部長及び職員を信頼しているかを伺う。 (8) 市長退職金を受け取るかを伺う。 (9) 市長は、1期目の選挙で市長専用車の廃止を掲げて当選しました。その姿勢をぶれることなく貫けるかを伺う。 (10) 新年度予算で市長の目玉政策である学校給食を完全に無料化することができるかを伺う。

通告順・質問者	質問事項及び質問要旨
	(11) 地元企業優先発注について伺う。 (12) 翁長県知事や城間那覇市長、照屋寛徳衆議院議員に対し、フェイスブックで批判をしていることについて伺う。 2 西海岸開発について (1) 市長は本気で西海岸開発を進める気持ちがあるかを伺う。 (2) 那覇港管理組合、沖縄県、那覇市との信頼関係はどうかを伺う。 (3) 市長が提案している軍港移設先の素案について市民の賛同は得られているかを伺う。 (4) 市長は、商工会議所や建設業協会浦添・西原支部の皆様に浦添市素案について賛成か反対かを聞いたことがあるかを伺う。 (5) 軍港受け入れの是非や移設先について市民投票をしてはどうかを伺う。 3 教育行政について (1) 教育長の資質と浦添市の教育に対する考えを伺う。 (2) 幼稚園、小中学校トイレの洋式化について伺う。 4 こども医療費助成制度の現物給付について伺う。
22 真栄城 玄 誠	1 国際交流行政について (1) 沖縄国際センターを活用した草の根技術協力事業について (2) 仮称「浦添泉州会」の設立について 2 保育士OKINAWAステイ計画について 3 住宅宿泊事業法（民泊新法）について (1) 住宅宿泊事業法の概要について (2) 新法制定後の本市の対応について 4 てだこ浦西駅周辺のまちづくりについて (1) 浦添スマートシティ基盤整備株式会社及び浦添分散型エネルギー株式会社について (2) アリーナ計画について ①進捗状況について ②公設民営及び公募型による設置の可能性について 5 観光振興計画について 6 道路行政について (1) 内間3丁目交差点付近へのカーブミラー設置について (2) 内間公民館付近の横断歩道白線及びパイプライン内間交差点付近の横断歩道白線表示について

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
23 護得久 朝 文	1 一括交付金の活用状況について伺います。 2 水道事業の状況と今後の取り組みについて伺います。 3 子どもの貧困緊急対策事業について伺います。 4 道路行政について (1) 神森線の進捗状況と安全対策について伺います。 (2) 大平3丁目4-24と大平3丁目5-2にかかる3差路の安全対策について伺います。 5 学童保育支援について伺います。 6 てだこまつりについて伺います。 7 市長の政治姿勢について伺います。
24 下 地 恵 典	1 施政方針から (1) 「沖縄1優しい福祉のまち」について ①浦添市が目指す「福祉のまち」とは何か。 (2) 「稼ぐ力」としてのネーミングライツについて 2 モノレール事業について (1) 市内に設置される3駅の整備の進捗状況について 3 消防法令違反の建物について 4 平成30年浦添市新年祝賀会名簿について (1) 議員名刺の掲載は公職選挙法に抵触する恐れがあるとのことですが、法律的根拠を示してください。 (2) 今後はどのような取り組みをするのか。
25 又 吉 謙 一	1 神森小学校のプール改築について 2 平成30年3月18日日曜日沖縄西海岸道路（浦添北道路）が開通します。本市の観光事業にも今後影響があると思うが、本市で市民から道路の愛称を公募し、那覇港管理組合や内閣府沖縄総合事務局へ積極的に提案したらいかがか。 3 島桑事業について伺います。 4 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律について (1) 民間企業や労働者に対する法律ですが、地方公務員を含め今後どのような影響があるのか伺う。 5 平成30年2月9日付、各都道府県教育委員会教育長宛文部科学事務次官から「学校における働き方改革に関する緊急対策の策定並びに学校における業務改善及び勤務時間管理等に係る取組の徹底につ

通告順・質問者	質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨
	いて」通知されてますが、本市の対応について伺う。 6 学童クラブに対する家賃補助等に関する内容を伺う。 7 西海岸開発について伺う。 (1) 去る２月５日、県知事、那覇市長、浦添市長、３首長の面談がありました。内容と結果を伺う。
	以 上